

令和5年度小谷村ケーブルテレビ放送番組審議会議事録

日 時	令和6年2月28日(水)13:00~14:10	場 所	小谷村役場視聴覚室	記録者	上川(由)
出席者	【委 員】5名 上川喜一、今井頌治（松澤聡志代理）、中村恭之、吉澤学、デクレットポール 【事務局】3名 諏訪匠、北村順二、上川由香里				
No	内 容				
1	開会				
2	議題				
	報告事項(1) 新春特番お年玉プレゼント応募状況・アンケート結果				
	事務局より、資料1に基づいて説明がなされた。				
	【委員からの意見等】				
	委 員) 先日、県外の方から塩の道祭りの飛脚参加について問合せがあったが、このアンケート回答者のようだ。まだ受付には時期が早いため、参加はできるが日程が近づいたら再度ご連絡いただきたい旨伝えている。				
	事務局) アンケート回答と合わせて飛脚参加できるかについてご質問いただいた。この方は LINE でのお応募だったため、問合せ先について案内を行った。視聴者の反応がこういった形で表れて嬉しい。				
	委 員) 飛脚参加は村外からも受付可能ということなので、タイミングを見て CATV や YouTube で募集宣伝するといいのではないか。				
	委 員) YouTube での視聴者からも肯定的な反応が多く、移住まで考えてくれるような発信になっていて良いと思う。番組自体のクオリティが上がっていることも良い。				
	委 員) 否定的な意見がほとんど見受けられない。資料では一部抜粋とのことだが、否定的な意見は載せていないのか、それとも集まっていないのか。集まっていないのであれば、そういった意見をどう集めるかが課題になってくるのではないか。				
	事務局) プレゼント応募に合わせたアンケートだったため、心象を良くするために肯定的な意見が多くなった印象。否定的意見も含め、視聴者の意見を集めるという点は以前からの課題であるため、声を拾える方法を引き続き色々試していきたい。				
	報告事項(2) YouTube チャンネル収益化について				
	事務局より、次の通り説明がなされた。				
	2024 年 1 月に収益化手続きを開始。現在の推定収益は 2,500 円弱だが、推定収益が支払い基準額 8,000 円を超えたら現金が振り込まれるシステムとなっている。				
	報告事項(3) スポンサー募集について				
	事務局より、次の通り説明がなされた。				
	前回審議会でもいただいた意見を参考に CM 見本を 1 本制作したが、スポンサー契約について弊社内部からの「法的に問題がないよう契約関係をしっかり整えた方が良い」との意見を受け、現在準備中で				

ある。

【委員からの意見等】

委 員) 法務確認には経費がかかっているのか？

事務局) 本社の法務担当者が確認を行っているため、外注等の経費はかかっていない。

委 員) スポンサー募集にあたり、YouTube で視聴者の年齢層などの情報がわかる機能 (YouTube アナリティクス) の結果を活用してはどうか。

委 員) そこで収集されるデータは視聴層データとして利用できるレベルのものなのか。

事務局) アナリティクスの視聴者データは、YouTube へのログインに加え、登録情報を公開する設定になっていないとうまく収集されないようになっている。

委 員) 例えば性別など、属性データを収集する際には主旨を明確にした上で取り組んでほしい。まずは、現状で把握できる範囲の情報をうまく活用してってもらいたい。

審議事項(1)生中継・ライブ配信について

事務局より、資料 2 に基づいて説明がなされた。

【委員からの意見等】

委 員) コンテンツ案に料理教室や空き家紹介が挙げられている。番組としては見てみたいが、ライブ配信でなくてもいいと思う。例えば、塩の道祭りやトレイルラン、雪の祭典、あんこうの吊るし切りなどのイベントのように、ライブ感を味わえるものの方が視聴してみたい。なぜ生中継・ライブ配信を行うのか、という目的を明確にすべき。

委 員) 一つのイベント内で「今から～～が行われます」という宣伝にも活用できるのではないか。

委 員) 学校行事も適していると思う。生中継と番組放送の両方をやってもらいたい。

委 員) YouTube でのライブ配信となると、個人情報への配慮が懸念。保育園・小・中学校とどこも、人数制限で会場へ入れない、感染症で参加できないなどで視聴ニーズはあると思う。

委 員) 肖像権に関係する確認をしっかりと行ったうえで実施してほしい。

委 員) 行事を欠席せざるを得なかった子どもも見たいと思うかもしれない。目的をはっきりさせて、媒体の特徴と組み合わせて実施できればよいのではないか。

委 員) 生放送を行うとして、それを視聴できる人がいるのかも大事だと思う。

委 員) 視聴者確保のためには、生放送の事前告知も重要ではないか。

委 員) 色々な意見が出たが全てをすぐに実施するのは難しいと思う。4 月以降、一歩ずつ着実に実装してってもらいたい。

事務局) 本日いただいたご意見を取り入れながら、即時性やライブ感など、生中継・ライブ配信ならではの特徴を活かして実施していきたい。

意見交換(1) TV 視聴行動について

事務局より、次の通り主旨説明がなされた。

今後の番組企画や放送時間帯などを検討するうえで、参考として各委員の視聴行動を教えていただきたい。例えば、「見たい番組だけ計画的に視聴する」「在宅時は常に TV をつけている」「朝だけ／夜だ

け特定のチャンネルを視聴する」「録画視聴のみ」「TV よりもネットフリックスなどのサブスクリプションを利用する」など、具体的なお話を伺えるとありがたい。

【委員からの意見等】

委員) テレビはまったく見ないが、ネットフリックスは就寝前に見る習慣がある。日本語のコンテンツはあまり見たくない子どもたちは登校前の 7 : 30 ~ 8 : 00、帰宅後の 17 : 00 ~ 18 : 00 には TV を見ている。

委員) 朝夕の食事時に視聴する。見る番組は固定されている。

委員) 12ch の文字放送で当番医は必ず確認している。民放では特定の番組だけ毎週見ており、その番組以外はテレビをあまり見ない。

委員) ニュースしかほぼ見ず、NHK メインで視聴している。あとはネットフリックスを利用している。

委員) 朝食時に NHK を見て、夕食時には NHK を見たり見なかったりという状況。基本的にチャンネル権は子どもにある。他にすることがなく、どうしてもテレビを見る他ないとなると BS を選ぶ。

事務局) 審議会内ではあまりテレビを視聴されない方が多いようだが、私はニュース番組をリアルタイムで視聴し、他の見たい番組は録画視聴している。

事務局) 高齢の世代は朝から晩までずっとテレビを見ている人が多いように感じる。特に小谷村内は多いのではないだろうか。

今後、こうした視聴行動についても意見を集めて番組制作・放送に活かしていきたい。

3 その他

事務局より、令和 6 年度から地域おこし協力隊員の受け入れ予定であることが伝えられた。

4 閉会

特記事項

次回開催は、2024 年 6 月実施予定。